

HSP 144 ストレージ電源ケーブルの交換

目次

.....	3
ストレージ電源ケーブルの交換: NetBackup 5330 アプライアンス	3
目的	3
影響のあるモデル	3
オンサイトのポリシーと手順	5
電気の安全性	5
ハードウェア部品の交換手順	6

Veritas

ストレージ電源ケーブルの交換: NetBackup 5330 アプライアンス

ドキュメント番号: 144

バージョン: 3.0 (15/03/10)

目的

このドキュメントでは、53xx RAID またはディスクストレージの電源ケーブルを交換する手順について説明します。

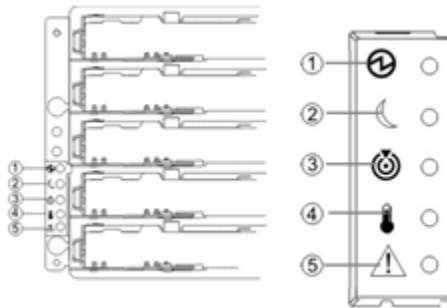
影響のあるモデル

Veritas NetBackup 5330 アプライアンスストレージシェルフ

NetBackup 5330 アプライアンスのプライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフにはそれぞれ、60 台の SAS ハードディスクドライブが搭載されています。プライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフの前面には、5 つのドロワーがあり、一番上から順に 1 から 5 までの番号が付いています。各ドロワーには 12 のディスクドライブが含まれ、左上から順に 1 から 12 までの番号が付いています。次の図に示すとおり、前面パネルは物理的、機能的に両方のシステムで同じです。



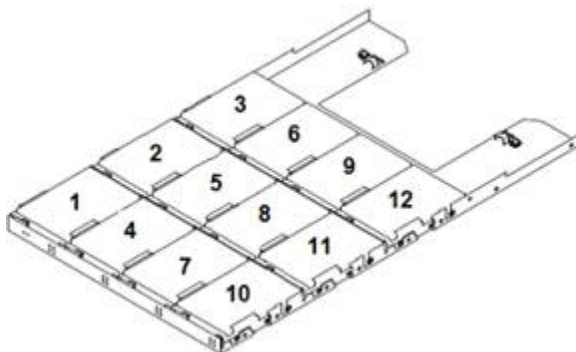
次の図は、前面パネルの LED を示しています。この表は、コンポーネントを示しています。



次の表は、LED ステータスの意味を示しています。

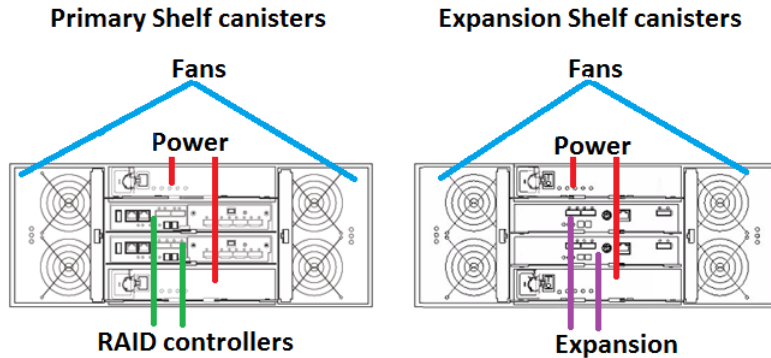
Number	Definition	Color
1	Power LED	Green
2	Standby LED	Green
3	Locate LED	White
4	Over-temperature LED	Amber
5	Service Action Required LED	Amber

ストレージシェルフの各ドロワーには 12 のディスク用スロットがあります。ディスクには、次の図のように番号が付いています。



両方のディスクシステムの背面パネルには、3種類のキャニスタが備わっています。

- RAID キャニスタまたは拡張キャニスタ
- AC 電源キャニスタ (AC 220 V)
- ファンキャニスタ



各ストレージシステムには、背面パネルの右側と左側に2つのファンキャニスタが付いています。

ファイバーチャネル (FC) ケーブルがプライマリシェルフとアプライアンスを接続します。

4つの SAS ケーブルが拡張シェルフとプライマリシェルフを接続します。拡張シェルフはアプライアンスに直接接続されません。

オンサイトのポリシーと手順

電気の安全性

人体から出る静電気で基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。装置の設置やメンテナンスを行うときは、怪我やデバイスの損傷を防ぐために、適切な静電気安全注意事項を遵守してください。

デバイスの静電気に弱い部分を取り扱う際には、静電放電 (ESD) 防護手段を講じる必要があります。この防護手段には、人身傷害やデバイスの損傷を避けるために身につける ESD を防止する手袋、リストストラップ、衣服などが含まれます。

デバイスを損傷から守るには、操作中に次の点に注意してください。

- デバイスを素手で触らないでください。人体からの静電放電によって基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。
- サーバーや内部コンポーネントを取り扱う際には、ESD を防止するリストストラップや手袋、スーツを身につけてください。

ハードウェア部品の交換手順

53xx RAID またはディスクストレージの電源ケーブルの取り外しと交換

このドキュメントでは、プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフを接続する NetBackup 5330 RAID またはディスクストレージの電源ケーブルを、アプライアンス稼働中に交換する方法について説明します。各ストレージシェルフをつなぐ電源ケーブルのうち 1 つは常時稼働している必要があります。

次の注意事項があります。

- プライマリストレージシェルフで両方の電源ケーブルを同時に外すことが必要な場合は、アプライアンスで I/O 処理が現在実行されていないことを確認した後、プライマリシェルフの電源を切ってください。
- 拡張ストレージシェルフで両方の電源ケーブルを同時に外すことが必要な場合は、アプライアンスで I/O 処理が現在実行されていないことを確認した後、プライマリシェルフの電源を切ってください。プライマリシェルフの電源が切れた (すべてのディスクレイが完全に消えた) 後で、拡張シェルフをオフにします。

この修理は、ラックに設置されたプライマリストレージシェルフおよび拡張シェルフで実施できます。

必要条件

NetBackup 5330 交換用電源ケーブル

電源ケーブルを外すには

- 1 不良電源ケーブルが使用されているストレージシェルフを特定します。
- 2 必要に応じて次の操作を実行します。
 - プライマリシェルフから不良電源ケーブルを外します。

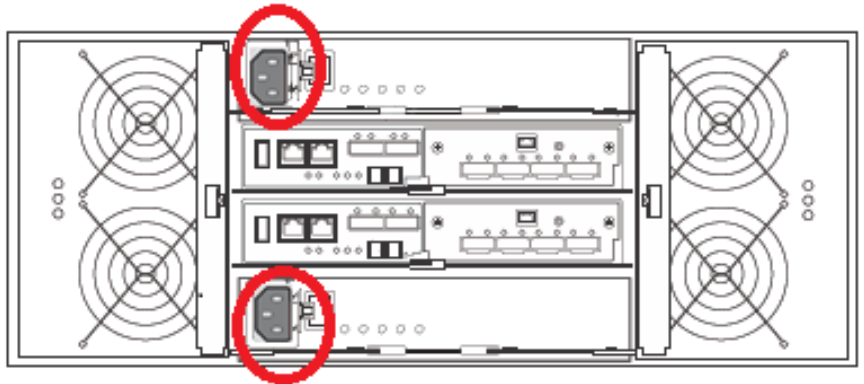
警告: 電源ケーブルは 1 度に 1 本ずつ交換します。プライマリストレージシェルフから両方の電源ケーブルを同時に外すことが必要な場合は、アプライアンスで I/O 処理が現在実行されていないことを確認した後、プライマリシェルフの電源を切ってください。

- 拡張シェルフから不良電源ケーブルを外します。

警告: 電源ケーブルは 1 度に 1 本ずつ交換します。拡張ストレージシェルフで両方の電源ケーブルを同時に外すことが必要な場合は、アプライアンスで I/O 処理が現在実行されていないことを確認した後、プライマリシェルフの電源を切ってください。プライマリシェルフの電源が切れた (すべてのディスプレイが完全に消えた) 後で、拡張シェルフをオフにします。

電源ケーブルを接続するには

- 1 ストレージシェルフの AC 電源入力に 200 VAC から 240 VAC、50/60 Hz、9.13 A から 10.95 A の範囲内にあることを検証します。
- 2 交換用電源ケーブルを包装箱から取り出します。
- 3 必要に応じて次の操作を実行します。
 - プライマリストレージシェルフの電源ソケットに電源コードを接続します。適切な AC 電源に各コードのもう一端を接続します。



- 拡張ストレージシェルフの電源ソケットに電源コードを接続します。適切な AC 電源に各コードのもう一端を接続します。

